

Coop Karte Network Service (コープ・カルテネットワークサービス)

～CKNSについて～

2011年7月
eBASEサポートセンター
CKNS事務局

■はじめに・・・～CKNSとは・・・～

{正式名称}

「Coop Karte Network Service」
(コープ・カルテネットワークサービス)

1. 略称として「CKNS」と呼びます（こちらが一般的に利用されます）。
2. eBASE社が運営する、インターネット上の会員制サービスになります。
3. 生協取り扱い商品の流通サプライチェーンを構成する

企業間全体のeBASE情報交換を支援する各種サービス群を指します。

生協団体、仕入先様を対象とした（新）「商品情報交換」支援サービス

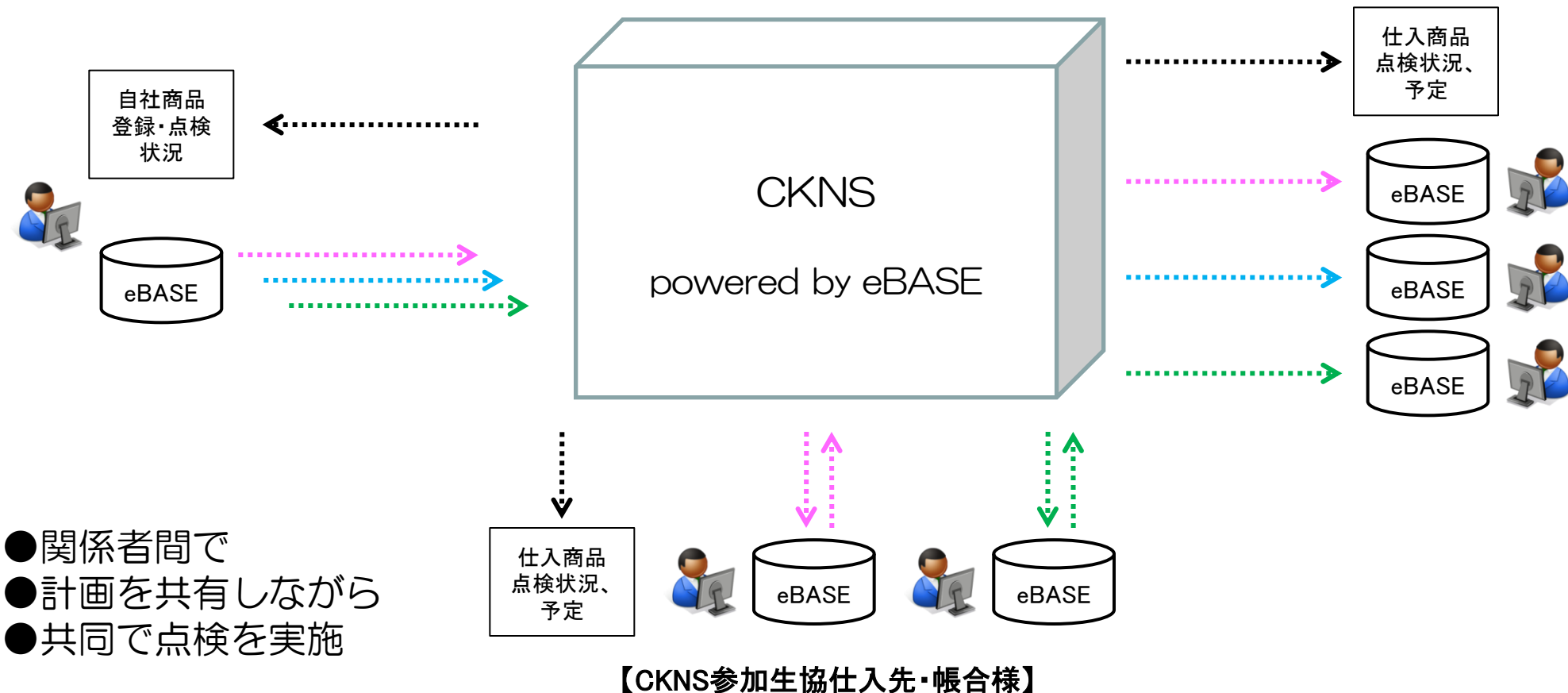
生協様向け商品仕様書（カルテ）の「共同点検」環境をご提供します。 1

■CKNSの全体イメージと目指すもの。

【メーカー様】

(新)「商品情報交換」支援サービス

【CKNS参加生協様】

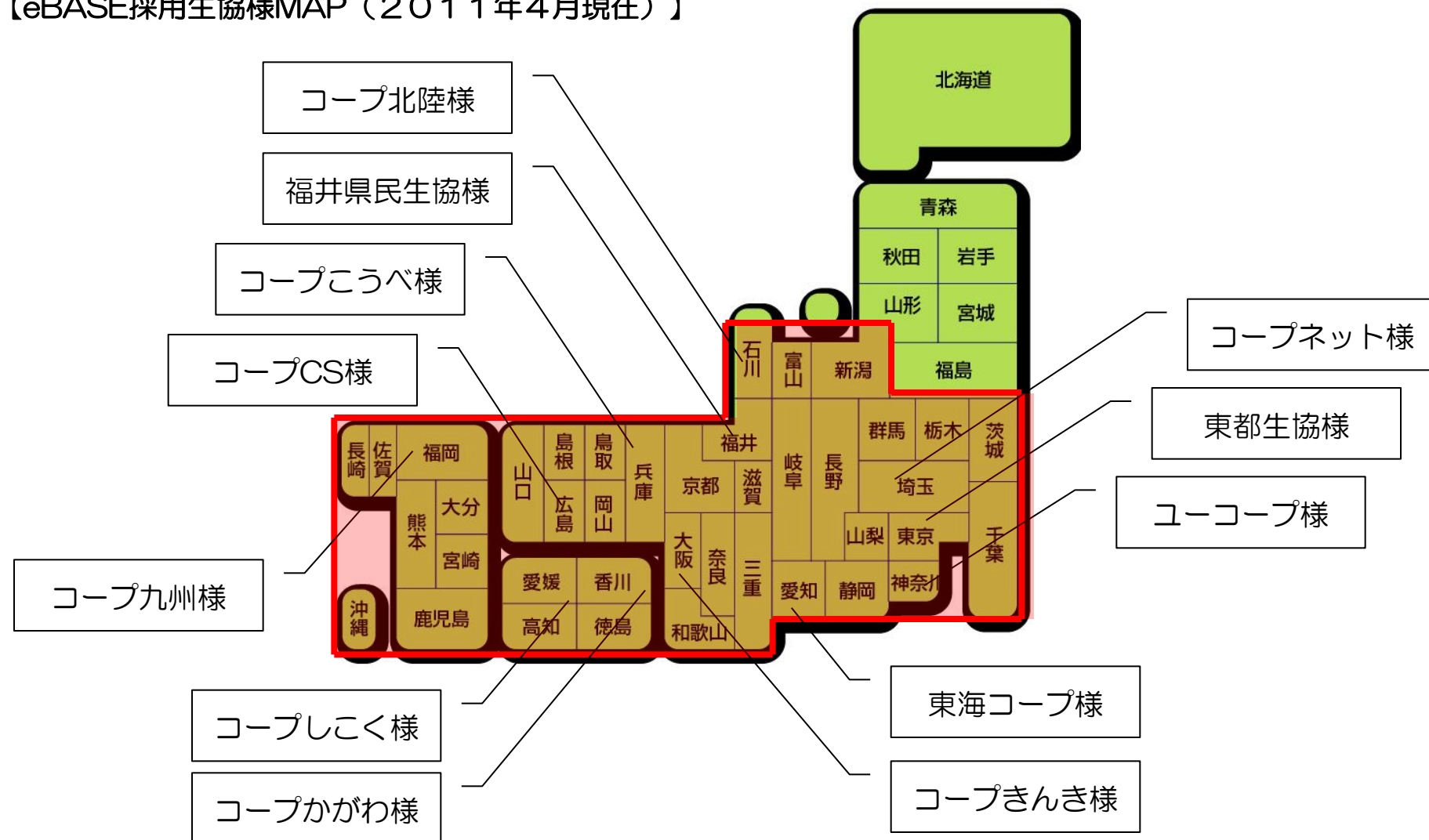


各生協「個別」の取り組みから、各生協「共同」の取り組みを目指して。

関係者全体の仕様書点検・管理業務の「さらなる」合理化、改善の取組みとして

■企画背景① ～生協様におけるご採用の広がり～

【eBASE採用生協様MAP（2011年4月現在）】



おかげさまで、生協様におけるeBASEを利用した
「食の安心安全」情報交換、標準化推進の取り組みは、広がって参りました³。

■企画背景② ～食品業界における利用者様の広がり～

eBASE ユーザー数

食品業界
約 4 万のユーザー様

eBASE User
(単位：ユーザー数)

業界別 eBASE ユーザー数推移 (累計)

FOODS(食品)業界
GREEN(環境)業界
GOODS(日雑)業界
その他業界

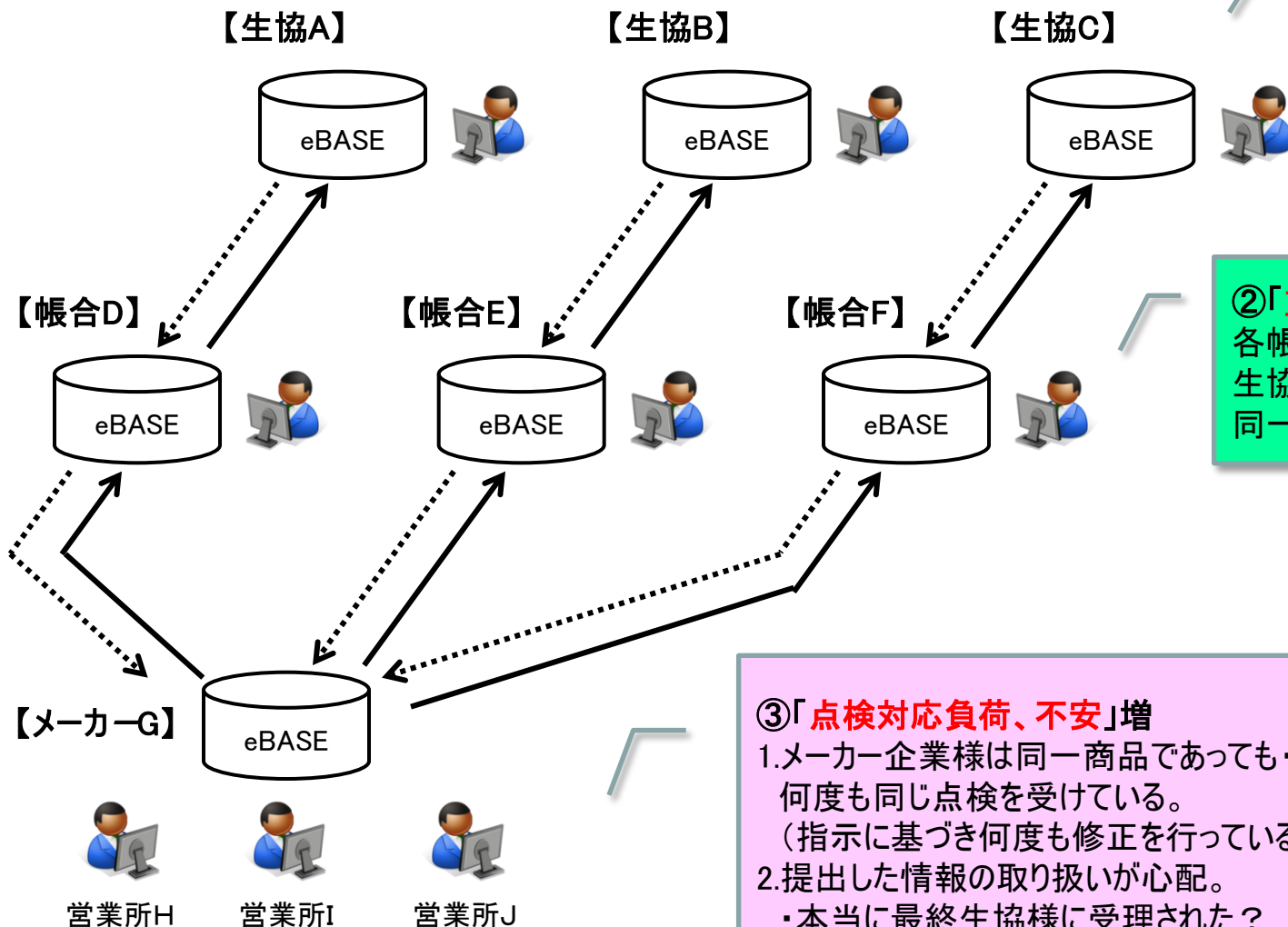
幅広い業界で商品情報交換の標準プラットフォームとして着実に普及



おかげさまで、食品業界全体でも、多くの企業の皆さまに
日々、ご利用いただいております。ありがとうございます。

■eBASE採用生協様、仕入先様における「新たな」課題：

同じeBASEシステムを利用しているのに・・・



①「**重複点検**」の発生
複数の生協様が
同一商品を取り扱う場合でも
各々で仕様書点検を実施。

②「**重複点検**」の発生
各帳合企業様間でも
生協様同様に、各々で
同一商品の点検を実施。

③「**点検対応負荷、不安**」増

- 1.メーカー企業様は同一商品であっても・・・
何度も同じ点検を受けている。
(指示に基づき何度も修正を行っている)
- 2.提出した情報の取り扱いが心配。
 - ・本当に最終生協様に受理された？
 - ・内容は変更されて受理されてない？
- 3.各社ログインID、PSWを覚えるのも大変。

{凡例}

.....➡ 依頼
——➡ 提出

■課題解決の方向性とこれまでの経過 ～2011年6月～

- これら顕在化課題の解決を目的とした、
- 生協団体、生協商品サプライチェーンにおける商品情報管理の取り組みの次期構想、フレームワークについて、
- 2010年1月より、「仕様書管理共同化」協議会を設立し、
(参加生協：コープネット様、コープきんき様。事務局：eBASE)
- 検討、意見交換を進めて参りました。



協議テーマとしては以下の3つ、

- 1) 生協団体における「情報管理業務の統合化・共同化」
- 2) 「(新) 商品情報管理インフラ」の構築、共同運用。
- 3) 「仕入先負担、不安」の軽減策。

これらの可能性について、協議を進め、

「CKNS」という新しいサービス、取り組みが生まれました。

■CKNSの狙い・各登場人物のメリット、費用

1. 生協2次仕入先・メーカー様メリット **【費用：無償】**

- ① 最終取扱い生協毎の基準にあわせ実施される「点検対応」負荷の軽減が可能になります
- ② また、同一商品の「重複した仕様書作成」作業の軽減が可能になります。
- ③ 自社登録データについて
 - 生協1次仕入先様の提出状況の確認が可能になります。
 - 生協点検の進捗状況の確認が可能になります。
- ④ メーカー様発信、登録仕様書データは、原則、登録企業以外は修正できません。
- ⑤ サービス利用時のログインID、パスワード管理が軽減されます。

2. 1次仕入先・帳合様メリット **【費用：無償】**

- ① 取引生協毎の基準にあわせ実施される「点検対応」負荷の軽減が可能になります。
- ② また、1次仕入先企業間における同一商品の「重複点検」作業の軽減が可能になります
- ③ 自社提案データについて、生協点検の進捗状況の確認が可能になります。
- ④ サービス利用時のログインID、パスワード管理が軽減されます。

3. 生協様メリット **【運営費用負担】**

- ① 生協間における同一商品の「重複点検」作業の軽減が可能になります。

※CKNSご利用の際には、事前に、「CKNS会員登録」が必要になります。

また、生協1次仕入先様の場合、生協様が提供されている「仕様書登録および仕入商品仕様書管理システムの 7
利用に関わる覚書」の締結が完了している必要があります。詳細は、後頁をご参考ください。